

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 13 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」 富塚校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	スペース量は適切だが、運動量が多い活動を行うと少し狭く感じる場面がある。パーティションで区切り、他の支援の様子が気にならないように配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	保育士や作業療法士を配置し、専門性を持って法令に基づき運営を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	2	建物にはエレベーターが備わっており、玄関先までは不便はないが、室内には少しの段差があるため、注意喚起をしながら昇降するように促している。また、手洗い場に届かない子どもに関しては台を置く工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	0	適時、職員間で面談を行いながら目標設定している。また、職員同士で常にコミュニケーションを取りながら業務の振り返りを行っている。さらに SDGs の観点から、ペーパーレス化を導入している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	アンケートを実施し、保護者のニーズを的確に捉えられるように努めている。いただいた意見を参考にしながら業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	ホームページ（Web）上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	2	2022 年 10 月に市の実地指導を受け、結果を職員で共有し効率の良い方法へと改善した。また、内部監査も適時執り行われている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	内部、外部ともに月に 1 度は研修機会を設けている。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	保護者への振り返りを職員間で共有し、意見交換してニーズを的確に捉え、計画に反映できるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	浜松市が導入しているアセスメントツールに基づいて評価をしている。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	職員間で情報を共有し、常に相談しながらプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	職員が交代で支援する事で、プログラムの固定化をしないようにしている。また、困り感やニーズに合わせて課題内容を変更し、様々なアプローチを試すように努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	基本的に個別支援計画に基づいて課題設定しているが、柔軟に対応できる体制を整えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	1	お楽しみ時間を設けて、他児と関わる事ができる仕組みを取っている。また、イベントを定期的に企画し小集団活動を取り入れるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	朝礼時に打合せや申し送りを行い、常に職員間の情報共有を図っている。また緊急の場合は、都度情報を発信できる仕組みを整えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	1	朝礼時に打合せや申し送りを行い、常に職員間の情報共有を図っている。また緊急の場合は、都度、情報を発信できる仕組みを整えている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	支援記録を正しく記載するために、取り組んだ課題を PDF 等で取り入れ、どの職員も閲覧しても分かるようにしている。また、支援の検証や改善に繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	半年に一度、モニタリングを実施し、計画が適切かを判断している。見直しが必要な場合は、新たな課題設定を行い柔軟に対応をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2	1	自立支援や創作活動も行いながらガイドラインに則った活動を展開している。
関係機関や保護者との連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	相談支援員から電話で、もしくは本事業所へ来ていただき、定期的にモニタリングを実施し情報を共有できるシステムを構築している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	4	1	学校と情報交換する機会は少ないが、年間計画等の情報は、保護者や児童から聞き取りを行い共有を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	0	対象児は居ない。

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	4	かけはしシートの活用や園訪問などを行いながら情報の共有が出来るようにしている。また要望があったり必要と判断されたりした場合は、積極的に関わられるようにしている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	アクセスジョブと連携を取り、利用者の情報を共有した。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	発達相談支援センター等の医療機関・専門機関と連携し、事例検討会や研修会を実施した。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	感染症対策のため活動する機会はないが、今後、要望があれば検討していきたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	2	放課後連絡協議会や市が主催する勉強会・研修会に参加して知識の向上を図っている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	支援後に、支援内容の説明や報告を怠らないようにしている。また家庭での様子や学校での出来事等を伺い、今後の支援の材料としている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	3	支援の中に親子で参加できるプログラムを立案し実行する時もある。また子どもへの接し方や関わり方の方法についてアドバイスを行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	契約時に書類を見ながら説明したり、改訂があった場合に書面で伝えられるようにしたりしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	要望に応じて個別相談の時間を設け、保護者からの悩みや相談に応じている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	年に2回ファミリーカフェ（保護者会）を実施している。座談会や講演会を通じて保護者同士の交流の場を設けている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	送迎レーンのトラブルがあった際は、その時間に送迎レーンに立ち、車の誘導を行うなどして対応した。苦情やヒヤリハットが発生した場合、速やかに上長へ報告すると共に、職員間で情報共有出来るようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	ブログやLINEで活動の様子や行事に関する情報を発信している。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	利用者が特定されてしまうような情報は外に持ち出さず、鍵付き書庫で保管するなど、厳重に管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	視覚情報を利用するなど、その利用者に合わせた最適なコミュニケーションの取り方ができるように配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	5	感染症の状況が落ち着き次第、検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	月に一度、防災訓練を実施している。また、感染・防災・虐待委員会を開催するなど、他校とも連携を図り活動を報告し合っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	月に一度、防災訓練を実施している。また防犯訓練も最低年2回以上行い、リスク管理を徹底している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	虐待防止委員を中心に、チェックシートを活用している。また、委員会を設置して研修や勉強会を実施し、虐待を未然に防ぐ対応をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	0	契約時に書面で確認、承諾を得るようにしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	0	食べ物の提供は行っていないが、基本情報シートを基に、職員間で情報の共有を図っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	事例が発生した際は、すぐに対応すると共に、上長に報告、職員間で共有できる体制を整えている。また、過去にあった事例に関して、職員が閲覧できるようにしている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 13 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」冨塚校

保護者等数（児童数）：76 人 回収数：39 人 割合：51.3 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	3	1	夕方の時間帯は利用者が多く所狭しという印象がある。 →人数の調整を行いながら改善に努めて参ります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	39	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	16	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	37	2	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	30	8	0	日々、工夫され子どもにあった支援をしてくれるのでありがたいですし、勉強になります。 →これからも研修や勉強会を通じて、指導員の質を向上を目指していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	15	15	なくても良いと思っています。 →コロナ禍で現在は行っておりません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38	1	0	なかなか話のできる場に参加できず申し訳ありません。 →個別相談も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38	1	0	自分が持ち合わせている知識とは違う視点でアドバイスいただけるので助かっています。 →様々な支援方法がありますので、一人ひとりに合わせた内容を一緒に考えていきましょう。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	35	4	0	ファミカフェ開催とっても嬉しかったです。次回も宜しく願います。 →年に二回開催しており、次回はもっといい企画が出来ればと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	2	0	きらりの先生方はすぐに動いて下さいますが、保育園利用者の意識に変化は感じられない。 →貴重なご意見ありがとうございます。複合施設となりますので、今後も他施

						設とも連携を取りながら、利用しやすい施設作りを展開できるように努めて参ります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	11	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	36	2	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31	8	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	29	5	0	・毎週とっても楽しみにして通所出来てありがたいです。 ・本人がきらりに通う意味を十分に理解できればもっと意欲的に通所できるのではと思う。 ・友達と先生と遊ぶことを楽しみにしているようです。 →通って楽しいと思える居場所作りを、これからも職員一同一丸となって取り組んで参ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	32	2	0	・個別に子どもとしっかり向き合って支援してくれるのでいつも感謝しています。これからも宜しく願いいたします。 ・いつも子どものことから世間話から色々聞いていただきありがとうございます。 →お子さんも保護者様も笑顔で来所していただけるように、これからも精進して参ります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。